

科目名(副題)	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
アーカイブズ学応用	1~3年次秋学期 (2・4・6セメスター)	2	土井/桑原/矢切/伊藤/東山
科目ナンバリング			
-			
授業概要・目的			
<p>授業形態を講義（演習を含む）とする。アーカイブズに関する博士水準の素養を修得する科目であり、その目標は、様々な学問分野における多様なアーカイブズの定義と実践を踏まえて、①それぞれの学問分野におけるアーカイブズをめぐる課題を的確に抽出すること、②そのような課題に対応できる方法論を獲得すること、③アーカイブズを適切に活用する現代的意義を考察することによって、アーカイブズ学の全体像を把握することにある。具体的には、それぞれの学問分野におけるアーカイブズをめぐる課題の抽出から始まり、概括説明、基本的知見の確認、方法論の検討、現代的意義の考察を行う。</p>			
学修到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学問分野におけるアーカイブズの定義と実践を比較検討し、各分野の課題を的確に抽出整理できる。</li> <li>抽出した課題に対して妥当な方法論を選定構築し、根拠を示して適用評価できる。</li> <li>アーカイブズの現代的意義を多角的に考察し、学術的に説明できる。</li> </ul>			
授業方法			
<p>この授業は、複数の教員によるオムニバスの講義形式で、原則、対面授業で、行う。 担当者ごとに進行方法の詳細は異なるので、各回の担当者の指示に従うこと。</p>			
活用される授業方法			
<p>板書、スライド（パワーポイント等）の使用、板書・スライド以外の視聴覚教材の使用、個人発表、ディスカッション・ディベート、その他（内容は「履修者へのコメント」欄を確認してください）</p>			
成績評価方法・基準			
平常点（100%）			
教科書・教材・参考文献 等			
<p>【教科書・教材】各担当者が、適宜、指示する。 【参考文献】</p>			
質問への対応(オフィスアワー等)			
<p>原則としてMaNaBoメールで対応するが、詳細については各担当者の指示に従うこと。</p>			
履修者へのコメント			
<p>開講曜日時限が不規則である点に、十分注意すること。 官公庁・民間企業・教育現場等で幅広く必要とされる「アーカイブズ」の問題に興味を持っていることが望ましい。 メディア等を通じ、日常的に、近年の時事問題や情報取扱に関する問題や情報を入手する努力を常に行うことを心掛けることが必要となる。</p>			
事前事後学習			
<p>予習・復習等については、各担当者からの指示に従うこと。 授業1回につき、予習1時間30分程度・復習30分程度を行うことが望ましい。</p>			

科目名(副題)		開講年次(セメスター)	単位	担当者名
アーカイブズ学応用		1~3年次秋学期 (2・4・6セメスター)	2	土井/桑原/矢切/伊藤/東山
授業計画				
No.	項目	内容		
1	2026/9/29火④【土井】	ガイダンス		
2	2026/10/5月②【桑原】	行政とアーカイブズ1		
3	2026/10/12月②【桑原】	行政とアーカイブズ2		
4	2026/10/20火④【伊藤】	ウェブシステムの活用技術		
5	2026/10/27火④【伊藤】	ウェブ検索と情報推薦		
6	2026/11/10火④【伊藤】	人工知能技術の基礎		
7	2026/11/16月②【矢切】	公文書管理の現状と課題		
8	2026/11/30月②【矢切】	公文書管理の歴史		
9	2026/12/7月②【矢切】	公文書管理の歴史		
10	2026/12/8火④【東山】	史料学とアーカイブズ1		
11	2026/12/15火④【東山】	史料学とアーカイブズ2		
12	2026/12/22火④【東山】	歴史学とアーカイブズ1		
13	2027/1/5火④【東山】	歴史学とアーカイブズ2		
14	2027/1/12火④【土井】	まとめ1		
15	2027/1/19火④【土井】	まとめ2		